

**一般社団法人日本歯科専門医機構**  
**令和3年度第8回理事会議事録**

1. 開催日時：令和4年3月10日（木） 午後2時00分～3時00分

2. 開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター6E

3. 出席者

1) 理事数（定足数）ならびに出席理事数とその氏名（敬称略）

理事現在数 12名（7名）

出席理事数 10名

出席者 会場参加 今井裕、木本茂成

Web参加 浅海淳一、砂田勝久、豊田郁子、鳥山佳則、古郷幹彦、  
松村英雄、宮脇正和、村上伸也、

欠席者 伊藤孝訓、柳川忠廣

陪席者 会場参加 丸山高人 Web参加 木村博人、一戸達也

2) 監事現在数および出席監事（敬称略）

監事現在数 2名

出席監事数 2名

出席者 会場参加 横山敏秀

Web参加 永井裕之

議長は、定款31条第1項により今井理事長が務める旨が報告され、定足数の充足を確認し本理事会の成立を宣した。なお、本日の理事会には、木村博人評価認定委員会委員長、一戸達也新規専門医制度小委員会委員長、丸山高人顧問弁護士がオブザーバーで出席する旨が報告された。

4. 開会の辞

鳥山佳則副理事長が開会を宣し開会した。

5. 挨拶

今井裕理事長より、理事会を始めるにあたり挨拶があった。

## 6. 議事録について

木本業務執行理事より、令和3年度第7回理事会議事録（案）について説明があり基本的な了解が得られた。なお、意見、修正等がある場合には1週間以内に事務局に連絡するよう依頼された。

## 7. 報告事項

### 1) 庶務報告

木本業務執行理事より令和4年2月17日から令和4年3月9日までの庶務報告がされた。

### 2) 会計報告

木本業務執行理事より資料3の2月収支報告書について報告された。

### 3) 委員会報告

木本業務執行理事より資料4に基づき報告された。

#### ① 役員候補者選考会議について

丸山議長より次回開催は3月28日の予定で、現在社員から推薦者を受付けていることが報告された。

#### ② 総務、IT広報員会合同会議について

担当理事である砂田理事から、ホームページについて検討され、まもなく更新内容が決定されること、データベースの活用法について検討されたことが報告された。また、機構のデータ保管についてクラウドの活用が今後検討されることが併せて報告された。

### 4) 共通研修について

#### ① 学会主催共通研修について

丸山委員長より、現在8件の申請があり、順次審査をしていることが報告された。

#### ② 機構主催共通研修について

丸山委員長より、3月9日現在の申込者数が1480人であることが報告された。

### 5) その他

なし

木本業務執行理事より、上記報告についての質問、また他に報告事項等はないか確認したところ、特に発言はなかった。

## 8. 審議事項

### 1) 2021年度第2期運用審査について

今井理事長から、2月15日日本歯周病学会、日本小児歯科学会、日本歯科麻酔学会につ

いて、2月24日日本歯科放射線学会、日本口腔外科学会について、令和3年度第2期運用審査が実施され、木村博人評価認定委員会委員長から報告書が提出されたことが報告された。今井理事長の指名にて木村委員長により、審査した5学会の運用は妥当であるが、それぞれにさらに改善を要する点について付帯事項を付加したことが報告され、詳細には報告書を参照いただきたい旨が報告された。

審議の結果、理事から異議はなく、採決の結果承認された。

今井理事長から、日本口腔外科学会が認定する医師の口腔外科専門医をどのように取り扱うべきか問題提議され、基本的に歯科専門医機構の対象者は歯科医師であるが、法的な問題も含め検討したい旨の提案があり了承された。

## 9. 協議事項

### 1) 専門医認定期間の延長の取扱いについて

今井理事長から、前回2月25日の第7回理事会で提起した内容につき、意見等をもとめたところ、日本歯科放射線学会から具体的にはまだ協議は進んでいないと報告があった。また、日本歯科麻酔学会から学会内では1年を超える延長の場合は一度資格を停止し、復帰の際には書類審査を免除の上、再受験を認めているとの報告があった。今井理事長から、認定期間延長については厚労省とも相談したいと発言があった。

### 2) 研修機関の指導医常勤について

口腔外科学会から基本的に常勤としているが、諸般の事情で兼任もあるので「原則」の方向でまとめられるとありがたいとの意見があったが、学会内での協議がまだ十分できていないと発言があった。歯科放射線学会からは原則指導医常勤との報告があった。

### 3) 今後の活動について

今井理事長より、今後対面での会議が増えることが予想されること、事務量の増大から常勤事務職員を増やす方向を考えると、現状の予算措置では活動が困難になることが予想されるため、活動に伴う予算立てを在り方委員会にて検討する方向で考えていることが紹介され、それに対する意見を求めたところ特にそれに対する発言はなかった。

また、現在web開催の委員会について、ある委員から時間を割いて参加しているので何らかの報酬的なことを考えてほしいとの依頼があった旨が報告され意見が求められた。支給することに特に反対意見はなかったが、村上理事から手続きとしては在り方委員会に諮り、承認が得られたら今年度に遡って支給する、次年度には規則等を変更するなどの方法がよいのではないかと意見があった。今井理事長より、在り方委員会に諮ることとし、また、社員には社員総会にて丁寧に説明し理解を得る努力をする旨発言があった。

### 4) その他

木本業務執行理事より、事務局米澤氏が3月末日をもって退職することが報告された。米澤氏本人から退職のあいさつがあった。

10. 閉会の辞

鳥山佳則副理事長が議題の審議等が終了した旨が宣され、閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、定款第33条2項に基つき代表理事及び監事は記名押印する。

令和4年 月 日

議長・議事録作成者

理事長 今井 裕 印

監事 横山敏秀 印

監事 永井裕之 印